

一般職業紹介状況(平成24年9月分)

有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.02ポイント低下の0.81倍で、7か月ぶりに前月を下回った。

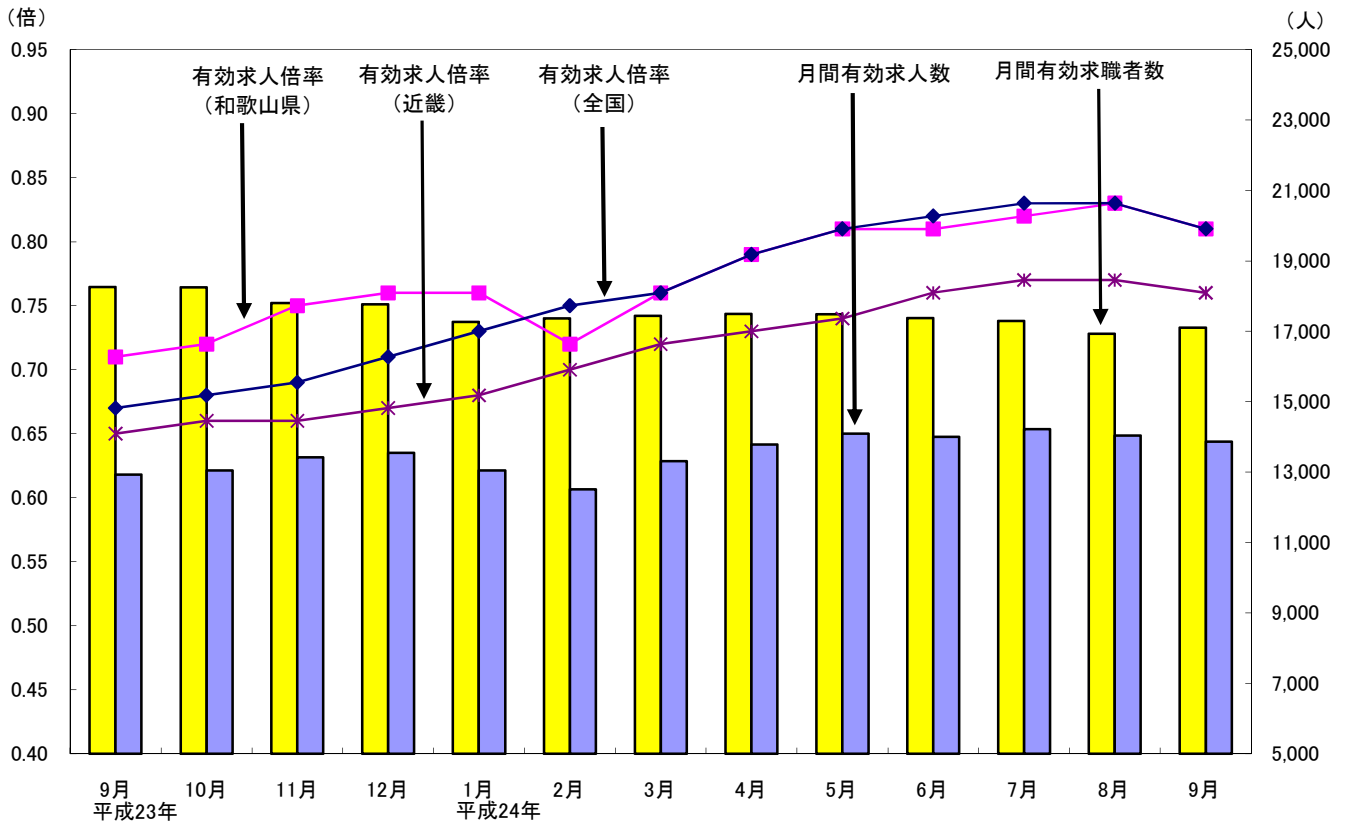
全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.81倍で、前月より0.02ポイント低下。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.76倍で、前月より0.01ポイント低下。

新規求人倍率(季節調整値)は1.19倍で、前月より0.13ポイント低下。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比0.5%増。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比6.3%減。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より0.13ポイント低下の1.19倍で、2か月連続で前月を下回った。

全国の新規求人倍率(季節調整値)は1.24倍で、前月より0.09ポイント低下。

近畿の新規求人倍率(季節調整値)は1.19倍で、前月より0.08ポイント低下。

有効求人倍率(季節調整値)は0.81倍となり、前月を0.02ポイント下回った。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より0.04ポイント上昇の0.42倍で、27か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

(1) 新規求人数(原数値)は5,334人で、前年同月比0.5%増(3か月連続増)となった。

有効求人数(原数値)は14,180人で、前年同月比5.5%増(6か月連続増)となった。

(2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、

「教育, 学習支援業」(94人増)、「農, 林, 漁業」(74人増)、「宿泊業, 飲食サービス業」(49人増)、「学術研究, 専門・技術サービス業」(44人増)などで増加し、「サービス業」(75人減)、「製造業」(58人減)、「運輸業, 郵便業」(45人減)などは減少した。

(3) 一般、パート別で新規求人の状況を見ると、一般求人数は2,782人で前年同月比7.6%減、パート求人数は2,552人で前年同月比11.1%増となった。

3 求職者の動き

(1) 新規求職者数(原数値)は4,146人で、前年同月比6.3%減(13か月連続減)となった。

有効求職者数(原数値)は17,170人で、前年同月比7.8%減(18か月連続減)となった。

(2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は877人で前年同月比3.3%増(2か月ぶり増)、離職者は2,559人で同4.9%減(4か月連続減)となり、離職者のうち事業主都合離職は609人で同8.6%減(5か月連続減)、自己都合離職は1,781人で同2.1%減(4か月連続減)、また、無業者は647人で同22.6%減(10か月連続減)となった。

(3) 雇用保険の受給者実人員は4,526人で、前年同月比5.2%減(2か月連続減)となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は1,675人で、前年同月比0.7%増(4か月ぶり増)となった。

5 まとめ

原数値で見ると、前年に比べ、求職者数は新規、有効とも連続して減少し、求人数は新規、有効とも連続して増加しているが、有効求人倍率(季節調整値)は7か月ぶりに前月を下回った。雇用情勢は持ち直しの動きがみられるが、依然として厳しい状況にある。